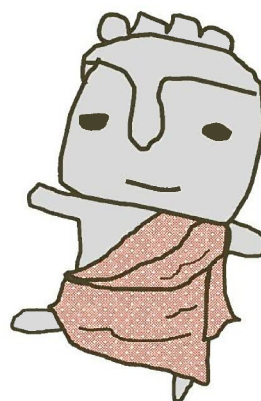


臼杵青年会議所・八幡浜青年会議所 交流50回目記念事業

「臼杵・八幡浜次代を築く講演会&トークセッション」



平成28年11月19日(土)
臼杵市長 中野 五郎

臼杵市の概観



人口 38,319人(2016年10月1日現在)
面積 291.06km²
高齢化率 37.6%(2016年10月1日現在)

平成17年1月、旧臼杵市と旧野津町の1市1町が合併

〔 特 徴 〕

400年以上昔からの町並みが残る城下町。醸造業や造船業が盛んで、創業100年以上の企業も多い。旧野津町は農業が盛んで、最近では市をあげて有機農業にも取り組んでいる。人口の多くが、旧臼杵市の平野部に住む。山間部にも集落が点在しているが、高齢化率50%を超えるところも多い。

臼杵市に押し寄せる3つの波

- (1) 人口減少下の少子高齢化の波
- (2) 成長社会から成熟社会への波
- (3) 中央集権から地方分権の波

市民力で心のかよいあう安心社会を！

【新時代の5つの基盤づくり】

1. 子どもたちが希望や誇りをもち、たくましく育つまち～希望～
2. 高齢者が安心して生き生きと暮らせるまち～安心～
3. 安全性を高め、災害に強いまち～安心～
4. 産業を盛んにして、活力のあるまち～活力～
5. 持続可能なまち～活力～

医療・介護関係者の連携で築くICTネットワーク基盤

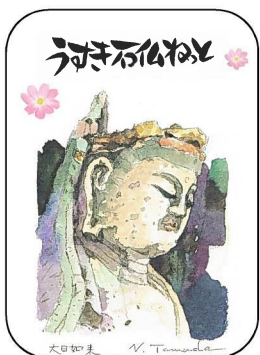
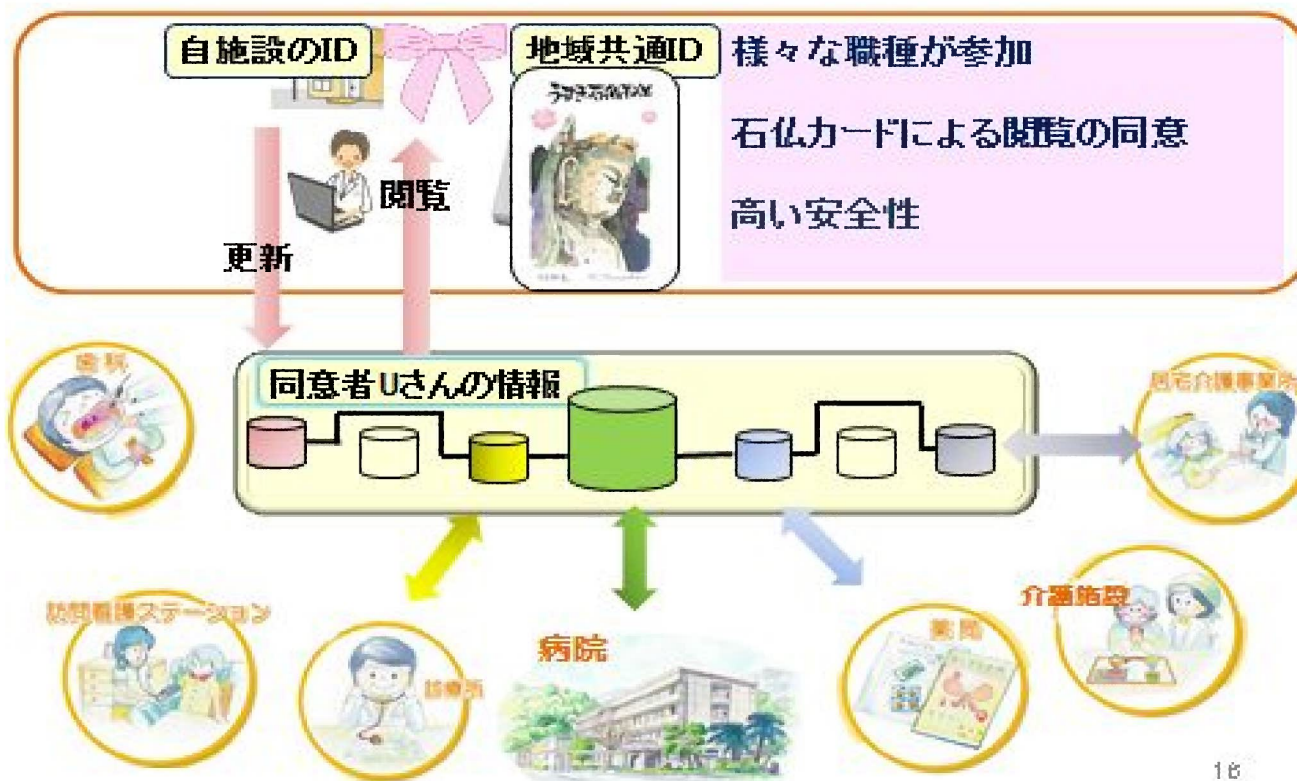
うすき石仏ねと 石仏があなたを守って下さる

「うすき石仏ねと」とは、臼杵市内の医療・介護機関を結ぶ情報ネットワークです。

「石仏カード」を提示していただくことで、様々な機関のデータを共有することができるようになります。

<目的>

ICTを利用し、住民・患者が安心して日常生活を過ごすために必要な患者本位の医療・福祉サービスの基盤づくりを目指す



医療・介護サービスから行政(救急・健診情報)までが連携したICTインフラ



日本経営協会主催の第8回協働まちづくり表彰で準グランプリを受賞 (H28.5.19 東京ビッグサイト)

電子化糖尿病連携手帳

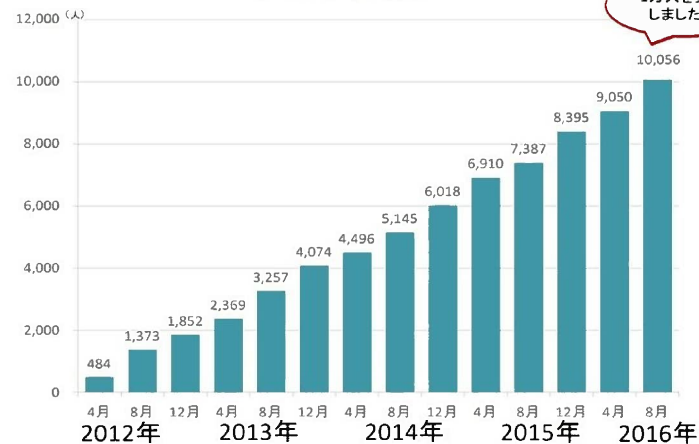
受診	受診日		医療機関						
	体重	kg	[Redacted]						
計測	BMI		[Redacted]						
	胆固	cm	110	111	112	113	114	115	116
	血圧/収	mmHg	2014-03-25	2014-04-22	2014-07-15	2014-08-25	2014-10-20	2015-01-13	2015-01-22
	血圧/拡張	mmHg	109/64	109/64	109/64	109/64	109/64	109/64	109/64
	血糖/空腹	mg/dl							97.0
	血糖/食後	mg/dl							118
	血糖時間				85				56
	HbA1c	%	9.4	10.1	13.2		10.1	8.7	13.9
	LDL-CHO	mg/dl	6.4	6.5	6.7	6.2	6.3	6.5	6.6
	eGFR	ml/min/1.732	103.3	121.2	107.4	95.1	105.9	83.1	96.3
検体検査	U-ALB	mg/g・Cr	44	41	44	46	42	47	35.5
	U-PRO	g/g Cre							10.7
	一日塩分	g							179.9
	BNP	PG/ML							1.79
頭動脈	肥厚度右	mm							1.87
	肥厚度左	mm							

① 白河市医師会立コスモス病院

ただ今、拡充中



同意者数



大学、医師会、行政が一体となって進める認知症対策

臼杵市が推進する認知症対策の4つの柱

I 認知症の正しい知識の普及啓発

- ・地域振興協議会などを拠点とした「なるほど認知症講座」の開催
- ・幅広く市民に参加してもらうための「市民フォーラム」の開催

II 認知症の早期発見と早期診療ができる体制づくり

- ・大学、医師会、行政が一体となって研究・研修を重ねる「臼杵市の認知症を考える会」の開催
- ・タッチパネルを用いた早期発見のための取組と、専門医への受診勧奨

III 認知症の方を介護している家族への支援

- ・市内で認知症の方を介護している人を対象にした「介護者のつどい」の開催

IV 認知症支援ネットワークの構築

- ・市民が認知症で悩んだときに相談できる場所を示した「認知症地域資源マップ」の作成
- ・幅広い年齢層を対象にした「認知症サポーター養成講座」の開催

I 認知症の正しい知識の普及啓発

- 認知症対策の目的は、認知症の症状がある人をできるだけ早く発見し、その人を適切な診断ができる医師につなげること。
- 臼杵市では、地域（小学校区）ごとに「なるほど認知症講座」を行い、家族・地域の中で声をかけあって、地域住民みんなで認知症についての正しい知識を得るための取り組みを行っている。



※ 平成26年5月、福良地区「なるほど認知症講座」

21

II 認知症の早期発見と早期診療ができる体制づくり

- 「なるほど認知症講座」受講後、地域の高齢者がみんなでタッチパネルを受診。15点満点のテストで12点以下の場合は、後日、市の保健師などが自宅を訪問し、必要があれば、専門医への受診を促す。
- これにより、早期発見・早期治療を行い、認知症の進行を遅らせることができる。



タッチパネル式早期診断システム



「結果説明コーナー」での説明の様子

24

平成27年4月23日 大分合同新聞

新 報 (夕 刊) 2015年(平成27年)4月28日 火曜日

認知症研究で協定

県 大分大学 臼杵市 東芝



協定書を交し、握手する大分大学の北野正剛学長(左から2人目)、中野田臼杵市長(徳)ら。28午前、県庁

生活習慣との関連調査

千人のデータ収集へ

県と大分大学、臼杵市、東芝(東京都)は28日、認知症の共同研究に関する連携協定を結んだ。臼杵市の高齢者千人に宇宙に装着するリストバンド型のセンサーを付けてもらい生活・身体データを3年間継続して収集。生活習慣と認知症の発症とのような関連があるのか調査し、予防に役立てる。大学によくと、生活習慣と認知症の因果関係を客観的な生データから解明する研究は全国初。東芝がリストバンド型「の認知症の検診や予防対策動計と分析の技術を提供。をしている。大学などによ医学部の松原樹樹教授、木村成志准教授らのチームが調査に当たる。市内3地区から協力者を募り、6月にも調査を開始する予定。調査ではセンサーを装着し、睡眠時間や1日の活動量、歩数などのデータを24時間取り続ける。年間4回、各回1〜2週間程度の調査を3年間継続する。全員にタッチパネル式の早期認知症診断も実施し、物忘れなどの疑いのある人には医学的2次検診もある。市と大学は2009年か

も高齢者認知症のリスクが高いため、地域での検診だけでなく、生活習慣の違いと認知症の関連性は以前から研究されている。客観的な生データから発症のリスクになる因子を見つけ、予防法の研究につながる。同日午前、県庁であった締結式では北野学長、中野市長、北野学長、東芝の各務正一専務が協定書に署名。北野学長は「日常の活動量を検診することで認知症の予防を見つけていく重要な研究、健康で長生きできる方向を自指したい」と話した。(宇都宮祥恵)

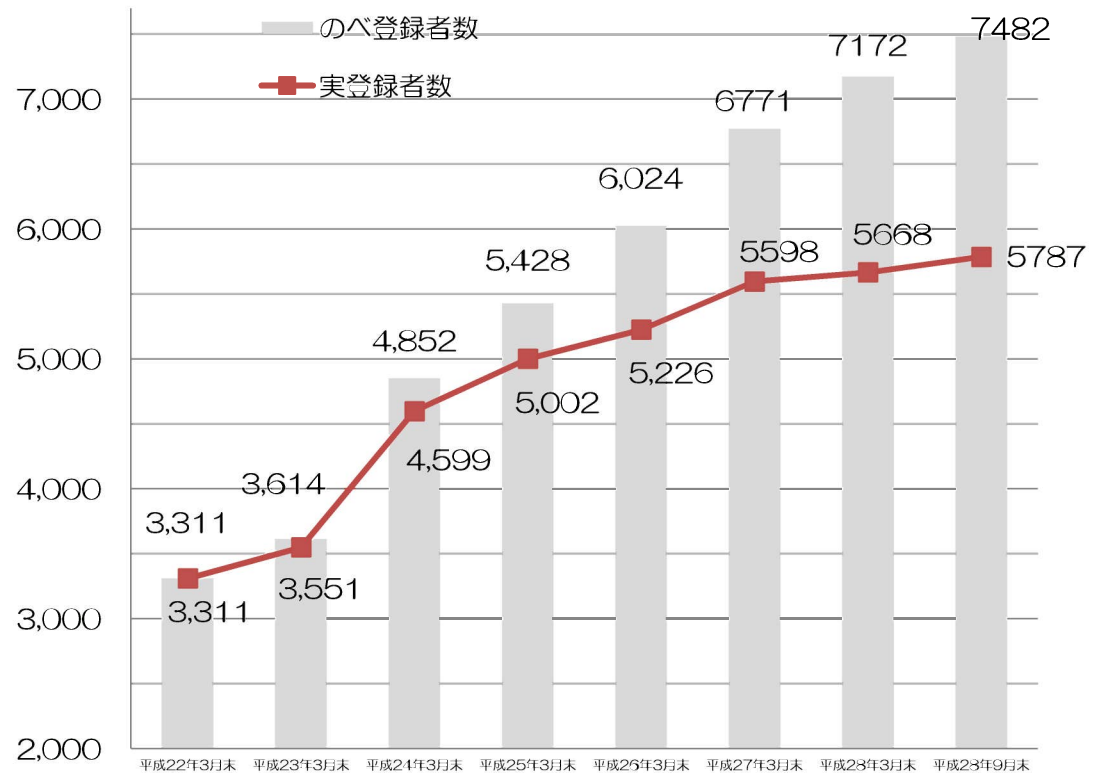
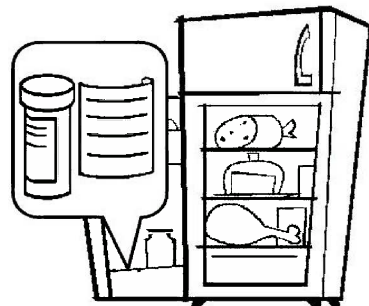


安心生活お守りキット

- 地域で孤立しがちな高齢者などに“安心生活お守りキット”を配布して、区長・民生児童委員による地域の見守り体制を構築。
- 地域のつながりを活用して、地域で孤立している人を地域の中で自立して暮らせるよう支援を行っていく。



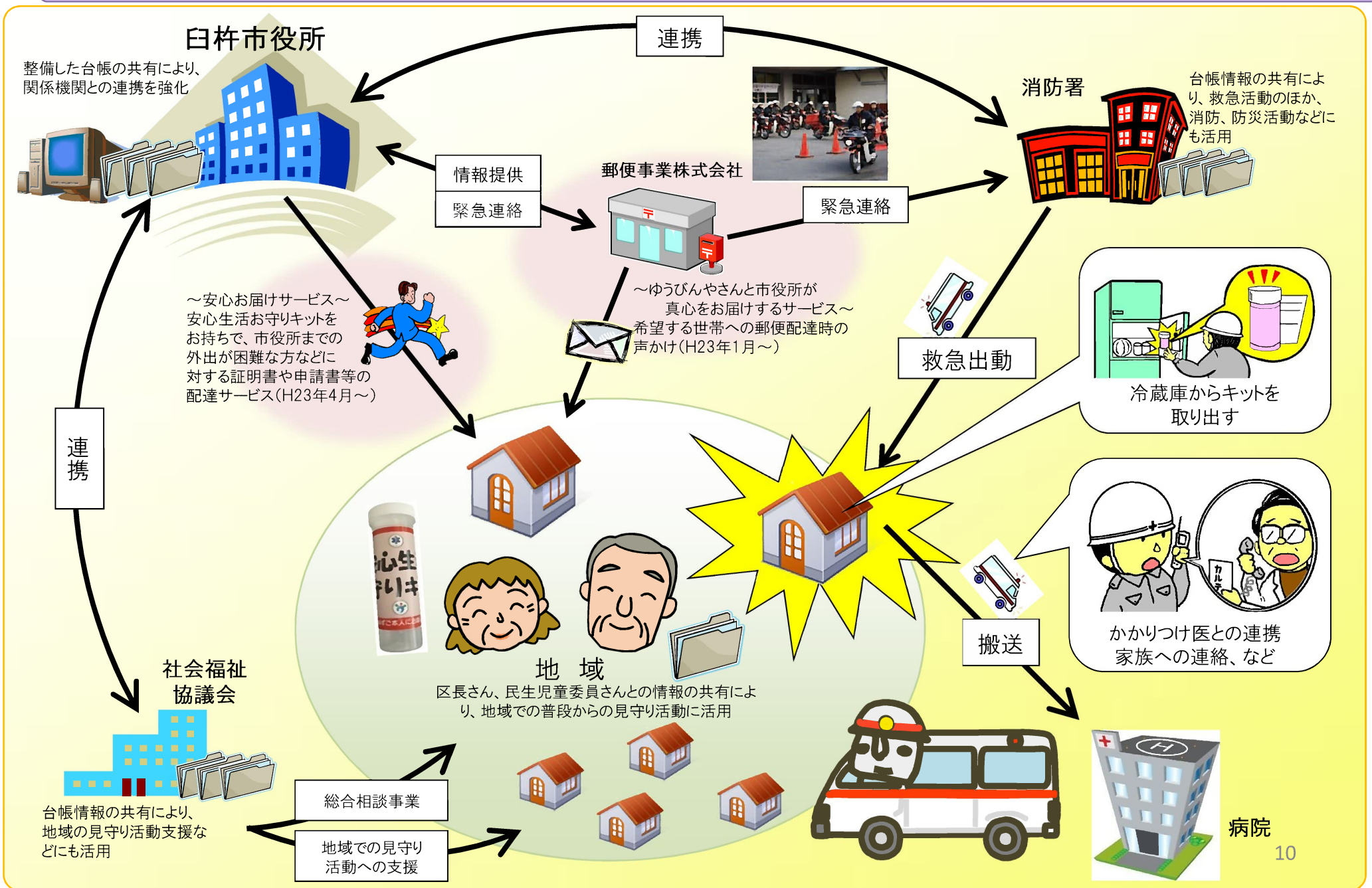
お守りカード(冷蔵庫用)			
氏名 白杵 太郎	生年月日 昭和 5 年 1 月 1 日	性別 男	血型 A 型
電話番号 0972-63-0000	白杵市大字白杵〇〇-1 本町〇組		
保険番号 定期高齢者	1234567		
緊急連絡先氏名	性別	電話番号	住所
白杵 一郎	長男	097-000-0000 090-0000-0000	大分市荷揚町△△-◇◇◇
大分 次郎	友人	0972-64-0000 080-0000-0000	白杵市大字白杵〇〇-△
病名	かかりつけ医療機関 (1)	かかりつけ医療機関 (2)	
	〇〇病院	△△総合病院	
担当医	市浜太郎	循環器科	
病名	ぜんそく	高血圧	
所在地	白杵市〇〇12-3	大分市〇〇4-5-6	
電話番号	0972-64-xxxx	097-543-xxxx	
介護保険の事業所	町内特 電話番号	白杵市〇〇567-1 0972-64-◇◇◇◇	
ふたがみがある	1階 扉間の隣の和室		



事業実施6年で累計7,000件達成！

※市内、70歳以上1人暮らし世帯及び高齢者のみ世帯の数は、約6,400世帯
(加入率: 約85%以上)

あらゆる関係機関が連携し市民をお守りする仕組み



ちあぽーと (臼杵市子ども・子育て総合支援センター)



《目的》

妊娠期から18歳までの様々な相談にワンストップで対応し、切れ目のない支援を提供するため、子どもから大人まで気軽に立ち寄れる支援拠点

《4つの機能》

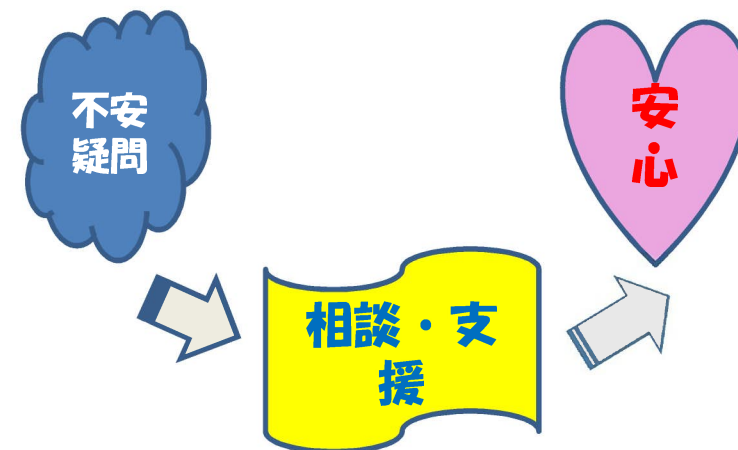
① <遊びの場、集いの場> 自由に来館
◇遊びのひろば ◇お弁当ひろば ◇赤ちゃんのおへや

② <相談や支援の場> 子育て支援のワンストップ
◇子育て相談 ◇心理士等による専門相談
◇ひとり親の就労支援・生活相談 ◇個別コーディネート

③ <学習・情報発信機能> 親育てと情報発信
◇子育て関係の情報発信や関連機関・団体との連携
◇各種「親の為のスキルアップ講座」実施

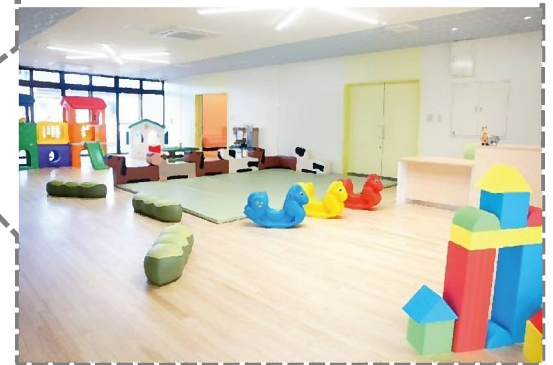
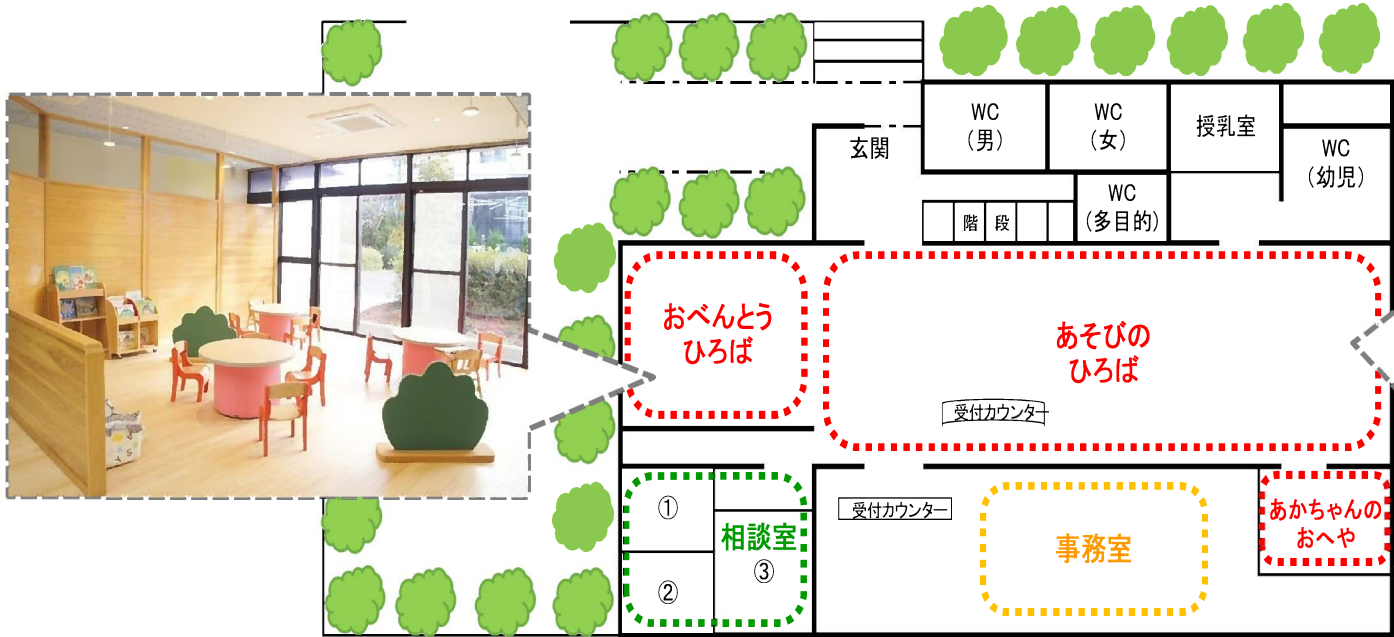
④ <子どもに関する行政手続き>
◇福祉関係の事務・・・保育所等・児童手当・ひとり親関係
◇母子保健関係の事務・・・母子手帳・子ども医療・その他
◇就園・就学・学校関係の相談・・・就園や就学に関する相談(申請窓口は学校等)

基本コンセプト ～うすきで子育て応援中～



ちあぽーと（臼杵市子ども・子育て支援センター）略図

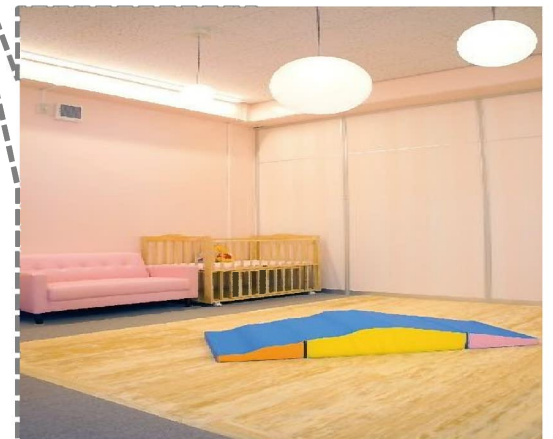
1階



2階

<4つの機能>

- 遊びの場、集いの場
- 相談や支援の場
- 学習・情報発信機能
- 子どもに関する行政手続き



若い世代が安心して子どもを産み、育てることができるように

～臼杵地域・野津地域の子どもの遊び場の拠点となる公園を整備しました～

臼杵市総合公園子ども広場 (リーフデわんぱーく)



H28.4
大型遊具のリニューアル



H28.7
芝生広場の整備



H28.10
ローラーすべり台



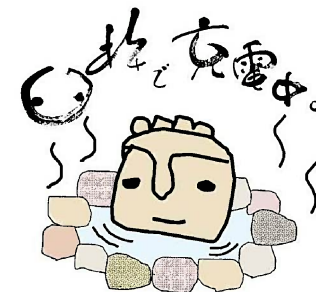
吉四六ランド (吉四六公園ふれあい広場)



H28.2
遊戯施設の整備



移住・定住支援



1. 各種支援(補助)制度 (H27年度～)

- ・不動産仲介手数料、引越費用等への補助、移住奨励金
- ・住宅新築や購入への補助
- ・若年・子育て世帯への家賃の補助 等々



2. 空き家バンク制度 (H26年度～)

- ・人口減少・高齢化に伴って増加している空き家を活用
- ・空き家を売りたい・貸したい人と利用したい人をつなぐ制度
- ・物件総数：71件、利用者登録数：176名、成約件数：32件



3. 移住希望者向けモニターツアー (H26年度～)

- ・農村民泊、空き家見学、移住者交流で「うすき暮らし」体感
- ・参加者の約3割が臼杵に移住
- ・本年度は3回(7月・10月・2月)開催



4. その他

- ・移住・定住サポーターの設置(登録24名) (H28年度～)
- ・移住希望者滞在施設「おためしハウス」設置 (H28年度～)
- ・就職支援サイト「うすきJobナビ」の開設 (H27年度～)
- ・都市部の移住フェアでの相談対応や情報発信 等々

◎移住者数の推移

H27年度
78世帯・172名



H28年度(上半期)

57世帯・145名

※県内2位

◎50歳から住みたい 地方ランキング

H28年度

全国15位

※田舎暮らしの本2016年
8月号(宝島社出版)